



ラオスの都市化

ラオスの都市化の背景

- **都市化率:** ラオスは毎年4～5%増の高い都市化率を経験している。さらに貧困が農村部から都市部への人口移動を引き起こしている。
- **人口増加:** 102万人 (20%の人口) が都市部に居住している。一方、410万人 (80%の人口) が農村部に居住しており、都市人口上昇の潜在的な存在となっている。
- **経済:** いまだ農業が国のGDPの大きな割合を占めているものの、都市部が経済成長の重要な役割を担いつつある。

都市化の課題

- 急速な都市化は、地方政府に基本的なインフラを整備するように圧力を加えるようになる。
- 都市貧困：ビエンチャンでは貧困率は12.2%とみられている。(整備されていない排水、衛生設備、粗末な住まい)
- 都市化は環境負荷を増大させる。(不適切な土地使用、森林破壊、大気汚染、土壌汚染、など)
- 急速な人口増加は、発展のためのさらなる資源を必要とする。

都市化に伴う障害に対する解決方法

1. ラオスにおける都市化に対して、グリーン・ビルディング・デザインのような持続可能で合理的な計画策定がなされるべき。
2. 都市開発のための進んだ技術。例えば、レンズ風車、雨水を集めるための施設、電気バイク、ソーラー・パネル・システム、など。
3. JICAやハビタット福岡本部、および協力機関との協力関係や連携を強化する。

